

令和 5年 4月26日

松山河川国道事務所

## 開通見通しのお知らせ

いまばり 今治道路 いまばりあさくら 今治朝倉IC(仮称)~いまばりゆのうら今治湯ノ浦ICが

**令和8年度**に開通します

四国地方整備局松山河川国道事務所で整備を進めている国道196号今治道路いまばりについて、事業工程の精査を行い、一定の見通しがついたことから、開通予定を公表いたします。

■国道196号 いまばり今治道路 いまばりあさくら今治朝倉IC(仮称)~いまばりゆのうら今治湯ノ浦IC 5.7km

【開通予定】**令和8年度**

【整備効果】物流の効率化による地域産業の活性化

今治新都市へのアクセス向上による地域経済拠点の発展

第3次救急医療機関へのアクセス向上による救命・救助の迅速化

引き続き、早期開通に向け、事業を推進してまいります。

本施策は、四国圏広域地方計画【No.1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト】の取組に該当します。

問い合わせ先（○主な問い合わせ先）

四国地方整備局 松山河川国道事務所 TEL：089-972-0034（代表）

副所長（道路） やの ひろき 矢野 裕紀（内線205）

○調査課長 かなくら ひるむ 金倉 弘武（内線451）

# 国道196号 今治道路 事業概要



○国道196号 今治道路は、高規格道路を構成する一般国道の自動車専用道路「今治小松自動車道」の一部であり、瀬戸内しまなみ海道と松山自動車道をつなぎ高規格道路ネットワークを形成することで、産業・文化などの分野における地域間の交流を促し、地域の活性化を図ることを目的とする道路です。

○この内、令和8年度に今治朝倉IC（仮称）～今治湯ノ浦ICの5.7kmが開通します。

## ◇位置図

国道196号今治道路  
(今治IC～今治湯ノ浦IC)



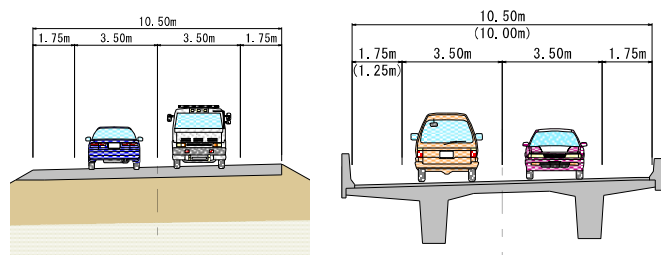
## ◇事業概要

|      |                                  |
|------|----------------------------------|
| 構造規格 | 第1種第3級                           |
| 設計速度 | 80km/h                           |
| 標準幅員 | 22.00m (完成4車線)<br>10.50m (暫定2車線) |

## ◇主な事業の経緯

|     |        |
|-----|--------|
| 事業化 | 平成13年度 |
|-----|--------|

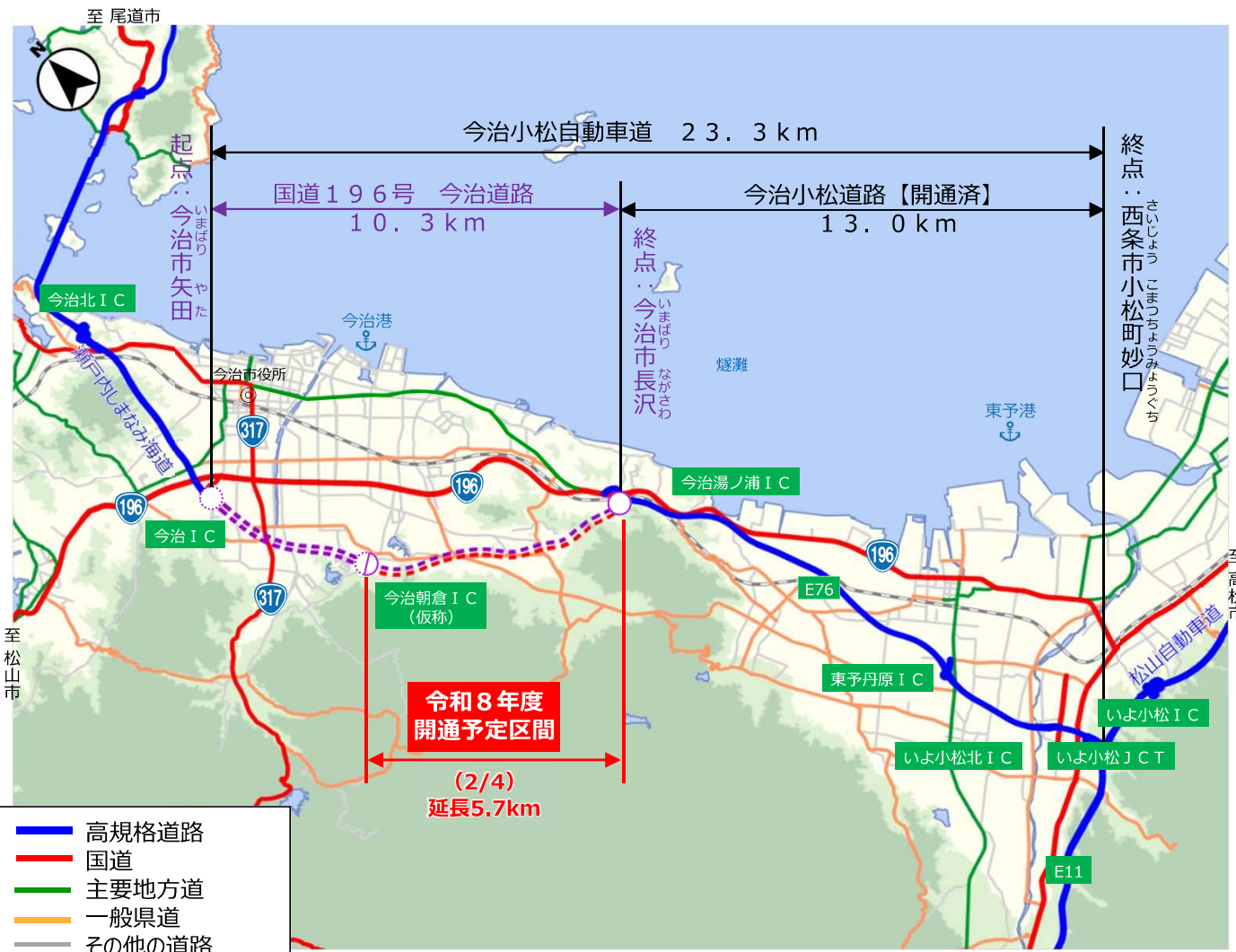
## ◇標準断面図 (暫定2車線)



〈土工部〉

〈橋梁部〉  
( )内は長大橋

## ◇詳細図



- 高規格道路
- 国道
- 主要地方道
- 一般県道
- その他の道路
- 未開通区間
- 開通予定区間

# 物流の効率化による地域産業の活性化



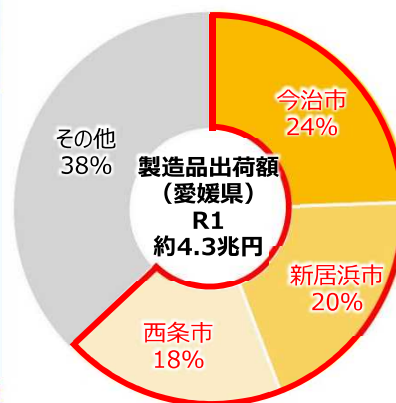
- 今治市、新居浜市、西条市は、製造品出荷額において県内の6割以上を占め、今治港や瀬戸内しまなみ海道を利用し、化学工業製品などを海外や本州方面へ輸送しています。
- 令和8年度の開通により、瀬戸内しまなみ海道や海外との定期航路がある今治港へのアクセスが向上することで物流の効率化が図られるとともに工業用地への企業進出が促進され、**地域産業の更なる活性化**が期待されます。

## ◇産業拠点への流動



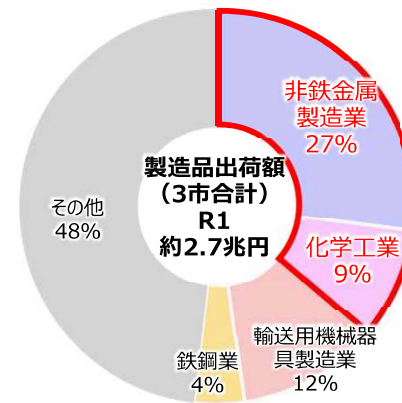
## ◇愛媛県の製造品出荷額 ▼愛媛県内(市町村別)

愛媛県の6割以上



## ▼今治市・新居浜市・西条市(産業分類別)

3市の約4割



資料) R2工業統計調査 (R1実績)

## ◇全線開通を期待する声

### 【新居浜市の製造業者の声】

- ・今治港を経由し、化学工業製品を海外(韓国など)へ搬送しています。
- ・今治道路が開通すれば、アクセスが向上し、定時性が確保されるため、今治道路を利用することも考えられます。



資料) R4.10 ヒアリング結果

### 【西条市役所の声】

- ・今治道路の開通による中国地方へのアクセス向上により、新たな企業(倉庫業など)が臨海工業用地に進出することが期待されます。
- ・また、製造業の企業では、中国地方へのアクセス向上により、受注量の増加が期待されます。
- ・このように、企業立地・受注量の増加、これに伴う雇用増加が促進されることで、地域産業の活性化が期待されます。



資料) R4.8 ヒアリング結果

## ◇所要時間の変化(西条臨海工業用地から今治IC)



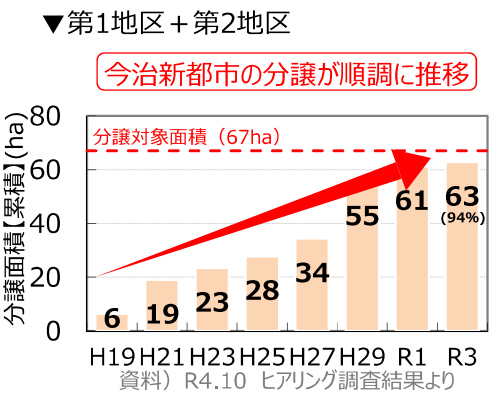
# 今治新都市へのアクセス向上による地域経済拠点の発展



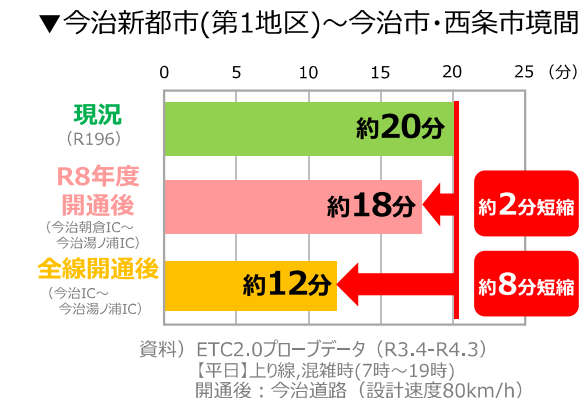
- 今治IC付近に位置する広域交流拠点の核となる今治新都市では、製造工場や全国展開する大型商業施設に加え、サッカースタジアムの建設など民間投資が順調に進んでいます。
- 令和8年度の開通により**今治新都市へのアクセス向上**が図られ、**更なる来訪者が増加し、地域経済拠点の発展**が期待されます。



## ◇今治新都市の分譲状況



## ◇所要時間の短縮



## ◇全線開通を期待する声

### 【今治市役所の声】

- 産業用地は完売し、一部の商業施設用地等が未分譲となっています。
- 今治道路の開通により高速ネットワークが形成されることで、**立地企業は事業活動のさらなる効率化や生産性向上が期待できる**と思います。
- また、**J1・J2対応のサッカースタジアム (R5.1オープン)**へのアクセス性が向上することで、より広域から観客の来場が期待できるとともに、**周辺の商業施設の集客増加など、一層の好影響が期待**できます。資料) R4.10 ヒアリング調査結果

### 【今治新都市に立地している企業 (商業施設) の声】

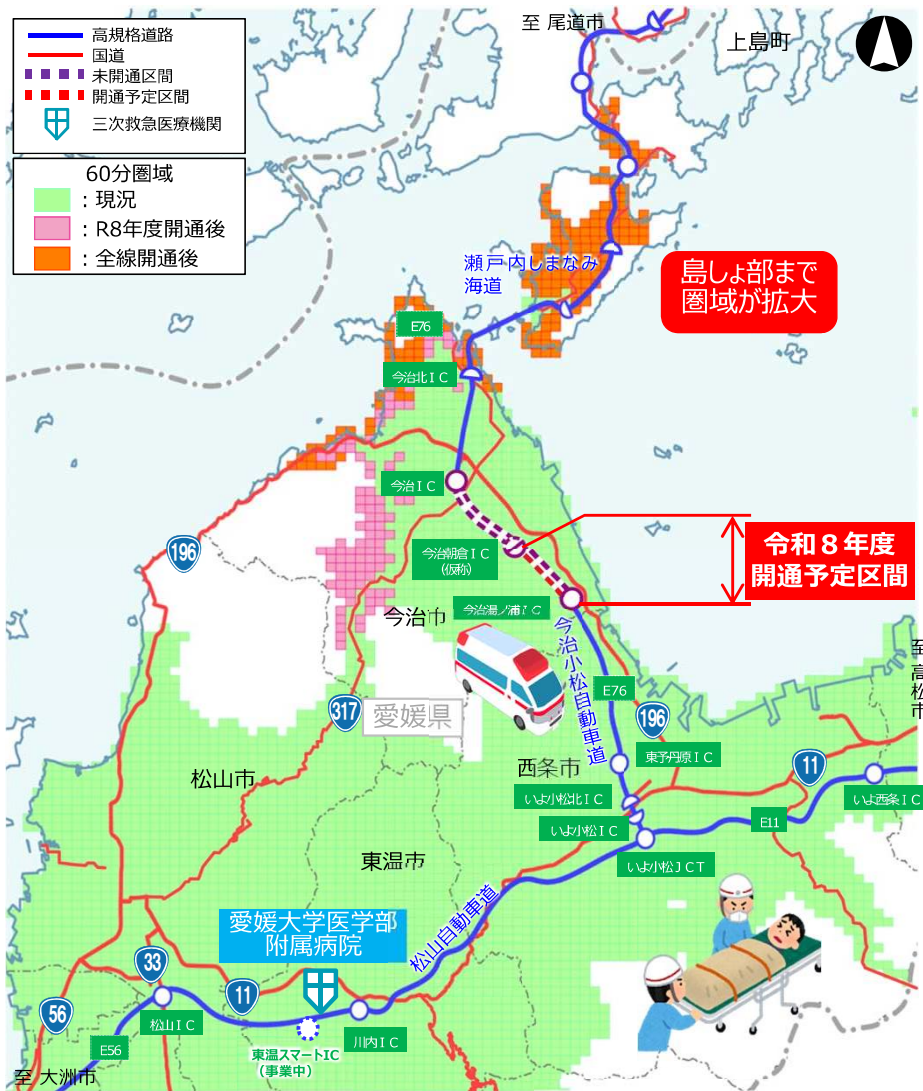
- 今治道路が開通することで、商業施設へのアクセス時間短縮による**商圈拡大**により西条市、新居浜市等からの**来客数増加を期待**しています。
- また、物流の運搬時間短縮のメリットを活かし、**県外企業からの商業施設内の店舗進出も期待**できると思います。資料) R4.11 ヒアリング調査結果

# 第3次救急医療機関へのアクセス向上による救命・救助の迅速化



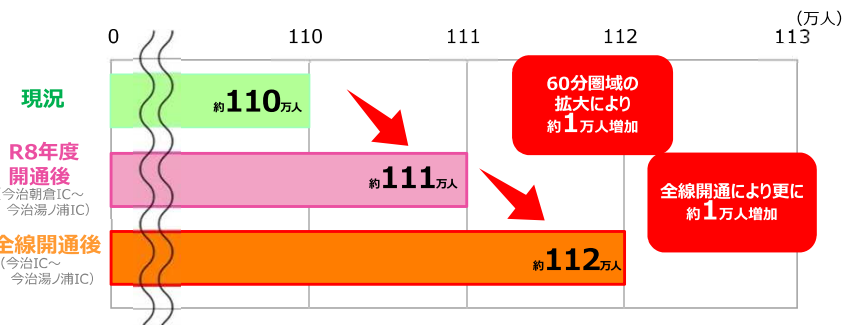
- 令和8年度の開通により、**第3次救急医療機関のない今治市から近傍の愛媛大学医学部附属病院へのアクセスが向上し**、60分圏域が拡大することで救命・救助の迅速化が期待されます。
- また、救急搬送時の振動軽減による患者の負担軽減が期待されます。

## ◇愛媛大学医学部附属病院への60分圏域の変化

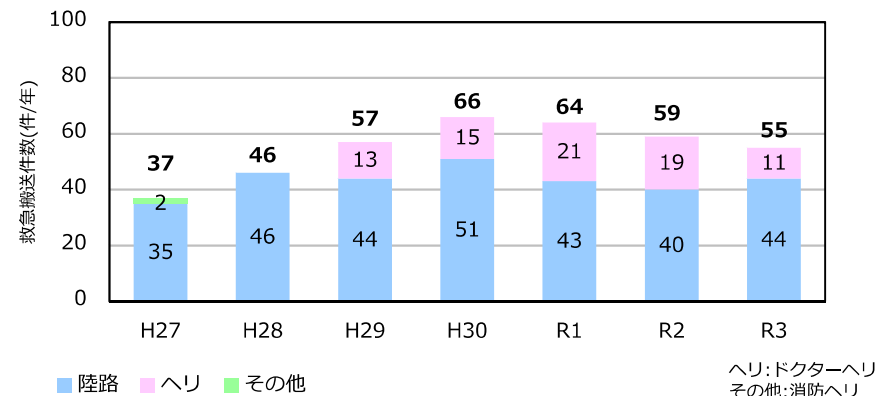


資料)  
H27全国道路・街路交通情勢調査 混雑時旅行速度  
(開通後の今治道路は設計速度(80km/h))  
人口: H27国勢調査500mメッシュ人口

## ▼愛媛大学医学部附属病院へ60分以内に到達できる人口



## ▼愛媛大学医学部附属病院への搬送件数の推移(搬送手段別)



資料) 愛媛大学医学部附属病院への搬送件数の推移 R4.1 ヒアリング結果(今治市消防本部)

## ◇全線開通を期待する声

### 【今治市消防本部の声】

- ・今治道路の開通により高速ネットワークが形成されることで、**搬送時間の短縮や、救急搬送時の振動軽減による患者の負担軽減が期待**できます。
- ・特に、**島嶼部から愛媛大学医学部附属病院に搬送する際に有効**と思います。



資料) R4.8 ヒアリング結果